

輸送動向について（1月分）

平成24年2月

1. 輸送概況

今月は、下旬に日本海側を中心とした広い範囲で記録的な大雪となり輸送障害が数日に亘って続いたことから、月全体で高速貨164本、専貨10本が運休した。

荷動きについては、東日本大震災による生産減や欧州経済危機に伴う景気悪化等に加え、下旬の大雪に伴う輸送障害の影響を強く受け、月全体では前年を下回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、自動車部品等が前年を上回ったものの、紙・パルプ、化学工業品等が前年を下回り、全体では前年比98.2%となった。農産品・青果物は、北海道地区の米、生野菜類が好調に推移した。また、自動車部品は震災に伴う減産から増産体制に転じたことに加え、一部車種の生産台数の増加に伴い大幅に増送となった。一方、紙・パルプは一部メーカーが被災による減送が継続しているものの、復旧したメーカーでは鉄道輸送が復調している。また、化学工業品は円高に伴う輸出減の影響を受け引き続き減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石等が前年を上回り、全体では前年比106.7%となった。石油は気温が低めに推移したことから需要が高まり増送となった。なお12月中旬以降、冷え込みが急激に厳しくなり灯油の出荷が旺盛となったため、年始期間に42本の臨時石油列車を運転した。また、セメント・石灰石はメーカーの定期修理時期が変更となり増送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,503	1,531	98.2%	16,095	17,444	92.3%
車 扱	1,125	1,055	106.7%	8,087	8,571	94.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	146	136	10	107.4%
	化学工業品	143	148	-5	96.6%
	化学薬品	120	131	-11	91.6%
	食料工業品	186	190	-4	97.9%
	紙・パルプ	236	260	-24	90.8%
	他工業品	130	126	4	103.2%
	積合せ貨物	143	148	-5	96.6%
	自動車部品	78	66	12	118.2%
	家電・情報機器	33	37	-4	89.2%
	エコ関連物資	29	30	-1	96.7%
	その他	259	259	0	100.0%
	コンテナ計	1,503	1,531	-28	98.2%
車 扱	石油	802	784	18	102.4%
	セメント・石灰石	133	93	40	143.8%
	車 両	98	103	-5	95.0%
	その他	92	75	17	122.2%
	車 扱 計	1,125	1,055	70	106.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）